

# 岩手県の 土地改良



## CONTENTS

- 水土里ネットいわて第55回通常総会を開催 ..... 2
- 平成24年度土地改良功労者表彰(土地連会長表彰) ..... 3
- 平成24年度東北・北海道土地改良事業団体連合会  
連絡協議会農地集団化表彰 ..... 3
- 田沼齊新副会長が就任 ..... 3
- 大迫町土地改良区が金章を受賞 ..... 4
- 被災3県の県土連が復興庁に対し要請 ..... 4
- 農業農村整備事業予算の確保に関する要請 ..... 5
- 平成24年度水土里ネット役員研修会を開催 ..... 5
- 平成24年度岩手県農業農村整備事業推進協議会役員会  
を開催 ..... 6
- 農地・水協議会の平成25年度事業計画を承認 ..... 6
- 岩手県農業農村整備推進議員クラブ通常総会並びに  
研究会が開催 ..... 6
- 平成25年度水土里ネットいわて事務局組織図 ..... 7
- 顧問弁護士が4月から熊谷隆司氏に ..... 7
- 平成24年度水土里ネットいわて資格取得者について ..... 8
- 今後の行事予定 ..... 8

2013(5月号) No.563

■発行所/岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号  
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人/田山 清 ■印刷所/永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

田植え楽しいな(盛岡市上鹿妻)  
平成24年度写真コンクール応募作品



# 水土里ネットいわて 第55回通常総会を開催

## ▶ 提案 11 議案を可決承認

水土里ネットいわて（及川正和会長）では、3月22日、平野達男参議院議員、主浜了同議員や東北農政局鳩山正仁次長、岩手県農林水産部沼崎光宏農村整備担当技監ほか多数の来賓出席のもと、第55回通常総会を開催し、平成25年度事業計画など11議案を審議した。

開会にあたり及川会長は、「被災地の復興は、これから正念場を迎える。県では、本年を“復興加速年”として位置づけ、沿岸部に人材等を集中的に配置して復興を後押しする方針。本会も県からの要請に応えられるよう職員派遣の増員を検討している。25年度も引き続き復興への支援に力を注いでいく」と述べた。

引き続き行われた、平成24年度の土地改良功労者表彰では、永年にわたり農業農村整備事業の推進や土地改良区運営に貢献した役職員11名に対し、及川会長が表彰状と記念品を授与した。



【挨拶をする及川会長】

表彰式終了後、花籠陽太郎紫波東部土地改良区理事長が議長に選任され、議事が行われた。

議事では、平成23年度一般会計収入支出決算、平成24年度一般会計収入支出二次補正予算及び平成25年度事業計画など10議案が原案どおり可決承認された。

役員の補欠選任議案については、田沼齊岩手山麓土地改良区理事長が満場一致で選任された。

最後に、本会職員が、「国・県が予算を確保し、被災地域の復旧、TPP交渉への対応やほ場整備、排水改良などを着実に推進すること」等を求める決議文（案）を朗読し、満場の拍手で採択して総会を終了した。

## 決 議 文

- 一 本年を「復興加速年」として被災地域の再生を軌道に乗せ、加速させる一年となるよう、復旧予算を確保し、生産性・収益性の一段と高い農業の実現を図るため、農地の整備等を着実に推進すること
- 一 日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村に、悪影響を及ぼすなど国益にそぐわない場合には、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉から脱退すること
- 一 地域の中心となる経営体に農地を集積し、担い手の育成を図るとともに、転作作物の生産振興を進めるため、中山間地域では農家負担の一層の軽減に配慮しながら、ほ場の大区画化や排水改良等を推進すること
- 一 頻発する災害への対応力を強化し、安心・安全で快適な農村づくりを図るため、幹線水路やため池などの農業用施設や農地の防災・減災対策を推進すること
- 一 国は、これら政策の推進に不可欠な予算を継続的に確保するとともに地方財政措置を講ずること
- 一 県は、地域からの要請に応えられるよう予算を確保するとともに執行体制の強化を図ること

平成二十五年三月二十二日  
岩手県土地改良事業団体連合会 第五十五回通常総会



## 平成 24 年度土地改良功労者表彰（土地連会長表彰）

### ○役員の一部

| 氏 名     | 所 属        | 役 職 名 |
|---------|------------|-------|
| 阿 部 義 勇 | 猿ヶ石北部土地改良区 | 副理事長  |
| 八重樫 瑞 郎 | 岩手中部土地改良区  | 前 理 事 |
| 菅 原 英 貢 | 岩手中部土地改良区  | 前 理 事 |
| 阿 部 京 一 | 花泉土地改良区    | 前 理 事 |
| 木 村 一 男 | 花泉土地改良区    | 前 理 事 |
| 大鹿糠 正   | 久慈市土地改良区   | 理 事   |

### ○職員の一部

| 氏 名     | 所 属        | 役 職 名    |
|---------|------------|----------|
| 鱒 沢 歌 子 | 山王海土地改良区   | 水門監視人    |
| 鎌 田 隆 吉 | 猿ヶ石北部土地改良区 | 施設管理人    |
| 佐々木 久美子 | 岩手中部土地改良区  | 事業課事業係主査 |
| 小野寺 和 人 | 胆沢平野土地改良区  | 総務課課長補佐  |
| 村 上 潤   | 胆沢平野土地改良区  | 総務課総務係長  |
| 大鹿糠 正   | 久慈市土地改良区   | 理 事      |



【平成 24 年度土地改良功労者表彰 受賞者】

## 平成 24 年度東北・北海道土地改良事業団体連合会 連絡協議会農地集団化表彰

- 優良地区 ・ 八重畑地区（石鳥谷東部土地改良区）      ○功労者 ・ 千田 武則（胆沢平野土地改良区）  
 ・ 渋民地区（一関東部土地改良区）

### 田沼 齊 新副会長が就任

第 55 回通常総会終了後に行われた第 6 回理事会に於いて、新副会長に田沼齊岩手山麓土地改良区理事長が互選された。



【田沼 齊副会長】

## 大迫町土地改良区が 金章を受賞

### ▶ 第54回全国土地改良 功労者表彰

全国水土里ネットが主催する第54回全国土地改良功労者表彰式が3月26日、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において開催され、受賞者ほか関係者約600名が参加した。

本県からは、未収賦課金の解消に向けた対策委員会の設置など早期納入促進の取り組みが評価された「大迫町土地改良区（石ヶ森良一理事長）」が団体表彰の金章を受賞した。

また、個人表彰の部では、小野寺達郎氏（夏川沿岸土地改良区理事長）、槻館恭治氏（岩手山麓土地改良区事業課長）の2名が受賞の栄に浴した。

なお、東日本大震災津波で被災し、全国水土里ネット会長表彰の表彰状（既受賞）が流失した、本県の気仙川土地改良区（金章）と小本川土地改良区（銅章）に対し、表彰状を再交付していただいた。



【挨拶をする野中会長】

## 全国水土里ネット表彰式



【左から小野寺氏、石ヶ森氏、槻館氏】

## 被災3県の県土連が 復興庁に対し要請

### ▶ 農業農村整備事業の着実な推進 と東日本大震災からの復旧・復興

全国の各県土連は、1月17日、全国水土里ネット主催の「農業農村整備の集い」終了後、3つのグループに分かれて、農林水産大臣をはじめ農林水産省、財務省、復興庁に対し、農業生産基盤の計画的な整備に必要な、平成25年度予算の確保をはじめ、「老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化の推進」などの5項目について要請を行った。

本会の及川正和会長、田山清専務理事、平賀巖理事、高橋勘一理事は、同じく被災県である宮城、福島とともに復興庁を訪れ、根本匠復興大臣（福島2区）・秋葉賢也副大臣（宮城2区）に要請を行った。及川会長は、「本県沿岸部の復旧は、



【根本復興大臣に要請書を手渡す及川会長】

24年度末で43%となる見込み。復旧交付金を活用したほ場整備は、今後、事業が本格化するので、引き続きご支援をお願いしたい」と述べた。

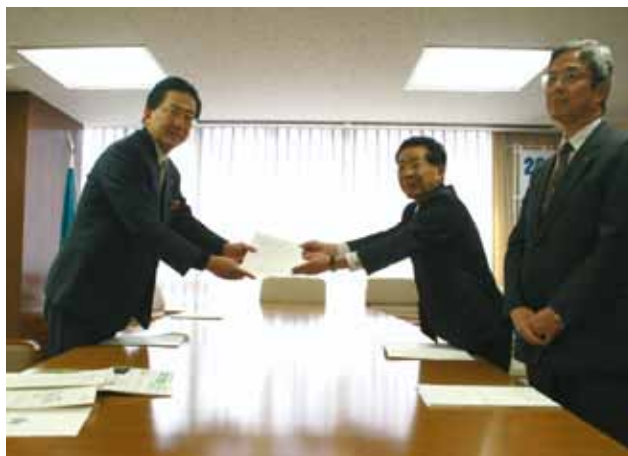
これに対し、根本大臣は、「関係省庁と連携して、しっかりと復興に取り組みたい」と力強くコメントした。

# 農業農村整備事業予算の確保に関する要請

## ▶ 達増知事へ要請

本会の及川正和会長は1月17日、達増拓也知事をはじめ県の幹部職員に対し、国の平成24年度補正予算や平成25年度当初予算の確保が本県の農業生産基盤の加速的整備につながるよう、県における予算の確保と執行体制の強化を要請した。

要請に対し達増知事は、「農業は本県の基幹産業であり、それを支える農地や水を守っていくための生産基盤の整備は、着実に進めていく必要がある。農業農村整備予算が増額されるという



【達増知事に要請書を手渡す及川会長】

ニュースは朗報であり、農家のニーズにできるだけ応えられるよう県としても努力していきたい」と述べた。

# 平成24年度水土里ネット役員研修会を開催

## ▶ 作家の森久美子氏を講師に迎え

水土里ネットいわて主催の平成24年度水土里ネット役員研修会が、1月24～25日の両日、盛岡市繋の「ホテル紫苑」において、土地改良区の役員約300名が参加して開催された。

主催者挨拶で及川正和会長は「予算の復活が見込まれる今こそ、農業水利施設の更新とともに、農業生産基盤の整備を加速的に進めていかなければならない」と挨拶した。

来賓の東北農政局小林厚司整備部長からは祝辞とともに、平成25年度の国の重点施策や東日本大震災の復旧状況等について講演をいただいた。

また、県農林水産部の沼崎光宏農村整備担当技兼農村計画課総括課長が、「土地改良区の運営体制の強化や農業水利施設の維持更新計画の必要性」について、伊藤千一農村建設課総括課長からは、25年度のNN予算の動向と震災復興への取組等が説明された。

らいらっく文学賞受賞作家で、農水省 食料・農業・農村政策審議会委員の森久美子氏からは、「日本の中の岩手県農業の魅力と課題」と題して



【挨拶をする及川会長】

講演をいただき、「国土の保全、食料の供給を担う農業農村はその存在があることだけで、国にとっては十分な意味がある。それを維持するために基盤を整備することは必要」と述べられ、さらに「岩手の人は消費者への発信が不足しているので、積極的な情報発信を行うべき」とアドバイスをいただいた。

翌25日は「複式簿記会計導入の必要性」や再生可能エネルギー事業に係る予算や導入に向けた課題等、近年の土地改良区を取りまくテーマがとりあげられた。

研修後のアンケートの結果では、「別の立場から見た農業の話で良かった」、「複式簿記会計について、事務職員に対する研修の機会を設けてほしい」などの感想や意見が寄せられた。



## 平成 24 年度 岩手県農業農村整備 事業推進協議会役員会を開催

岩手県農業農村整備事業推進協議会役員会（及川正和会長）が、2月15日に本会3階会議室において開催され、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画（案）、収入支出予算（案）が承認された。

また、欠員となっていた生産基盤整備専門部会（ほ場整備）の委員には豊沢川土地改良区の平賀巖理事長が選任された。



【役員会の開催状況】

## 農地・水協議会の平成 25 年度 事業計画を承認

### ▶ 総会開催と併せて農地・水保全管理 支払対策研修会を開催

岩手県農地・水・環境保全向上対策地域協議会（会長 田山 清 本会専務理事）は、3月14日、本会会議室で平成25年度の事業計画及び収支予算を議案とする総会を開催した。

総会では、現地指導専門員を増員し、現地での支援体制の強化と活動組織へのきめ細やかな支援を行っていくことなど、平成25年度の事業計画が説明され全会一致で可決された。

また、総会終了後には東北農政局整備部農地



【挨拶をする田山会長】

整備課農地・水保全管理室の高橋清美係長を講師として研修会が行われた。研修では、会計検査での指摘事項等が説明され、市町村や県現地機関の担当者に対し活動組織への一層の指導徹底を求めた。

## 岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ通常総会並び に研究会が開催

岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ（小田島峰雄会長 会員数48名 議員全員）は、3月1日、県議会大会議室において、平成24年度通常総会を開催し、平成24年度事業報告、収入支出決算、平成25年度事業計画、収入支出予算などを審議した。

総会の冒頭、小田島会長は「昨年の現地研修では久慈市と野田村を視察し、農地・農業施設の災害復旧の最前線をご覧いただいた。また地元の皆さんと意見交換をし、大変成果があがったもの

と高く評価している。さらに、農業農村整備に係る補正予算と平成25年度当初予算が多く組まれ、東北でも遅れている基盤整備が進むものと考えている。おって、今年も様々な企画をし、現地研修を予定しているので多くの会員に参加してほしい。」と述べた。

総会終了後、伊藤千一 県農林水産部農村建設課総括課長を講師とし、「農業農村整備事業の予算について」をテーマに研究会を開催した。